

消化器内科

患者数実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
のべ入院患者数	年間	18,897	22,805	24,497
	1日平均	52	62	67
外来患者数	年間	60,078	59,591	59,256
	1日平均	247	244	243
〈消化器悪性疾患〉				
食道		40	20	39
胃		100	66	106
十二指腸・小腸		7	3	7
盲腸・虫垂		3	6	8
大腸		106	54	50
直腸・肛門		30	14	31
肝臓		55	38	55
膵臓		68	37	94
胆嚢		3	2	0
胆管		29	13	6
炎症性腸疾患		50	16	24
〈糖尿病〉				
		417	298	369
〈膠原病〉				
関節リウマチ		302	124	305
全身性エリテマトーデス		16	14	11
顕微鏡的多発血管炎		11	7	22
混合性結合組織病		2	1	1
強皮症		5	5	0
ベーチェット病		16	7	2
皮膚筋炎		16	22	15
シューグレン症候群		35	11	6
強直性脊椎炎		5	2	0
皮膚型結節性多発動脈炎		-	0	0
大動脈炎症候群		6	1	1
リウマチ性多発筋痛症		18	12	3
若年性関節リウマチ		1	0	0
悪性関節リウマチ		1	1	2
ウェゲナー肉芽腫症		3	2	6
アレルギー性肉芽腫性血管炎		1	1	5
抗リン脂質抗体症候群		-	-	1
痛風関節炎		2	-	0

コロナ禍からの回復傾向は続いており、患者さんの数は徐々に増加してきています。消化器疾患では内視鏡治療、癌に対する化学療法などの患者さんが前年度同様入院患者さんの多くを占めています。糖尿病の患者さんについては他科入院中の患者さんを中心に診療を行い、膠原病については外来診療、入院診療とも高度な専門的診療を行っております。

(文責／消化器内科 第1主任部長 柳澤 秀之)